



































チャレンジ項目記入数

23

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念は明文化し、年1回の経営計画発表会で毎年説明している ・ホームページにも経営理念に沿った取り組みを随時掲載している								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・現場5Sチェックリストに沿って、廃棄物の分別、安全作業などの現場での法令順守を物件ごとに実施している ・従業員には社内会議で労働関係や社会規範のコンプライアンスについて通達し、従業員も理解している															16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為に対して、社内会議で定期的にチェックしている ・協力業者へも優越的地位の乱用などは常に、役員がチェックしている										10					16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・工務部で現場での問題発生が分かるように安全パトロールを定期的 に実施し、安全協力会(業者会)が課題解決の行動をしている															16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・ホームページやSNSの配信で、知的財産にかかわるコンテンツの可能性 がある事を念頭に、必ず役員会で検収をしている・自社の知的財産の保護 にも取り組んでいる								8.2 8.3	9						16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・施主個人情報は顧客管理用サーバーで保存し、パスワード管理をして いる ・個人情報が書かれた文書等、「個人情報保護規定の一部 シュレッ ダーが必要な書類一覧」を掲示し、毎回シュレッダー処理している(社員 にも徹底されている) ・「個人情報保護規定」に沿ってシュレッダーで破棄できない文書、保存 媒体などは、業者を通さず直接ごみ処理場へ持ちこみしている															16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホル ダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消 費者、投資家等及び社会全体)	●		・既存施主とのアフターサービスを規定に沿って実施し、顧客とのコ ミュニケーションや要望事項の収集に努めている ・協力業者会(安全協力会)を2か月に1回実施し、情報共有している ・公共工事の入札物件をとる為、入札公告を閲覧している														16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生 態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈 収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・協力業者と2か月1回の安全協力会を開催し、不正や倫理違反に関し て意見交換するとともに、問題が起こらないよう啓発を行っている ・現場5Sチェックリストに沿って、ごみを分別し産廃業者に法令に沿 って委託している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を 策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・水害、地震、火災などでデータが消失しないように、本社サーバー以 外にクラウドでデータセンターに自動保存している ・【予定】BCP計画を2026年3月末まで作成予定である ・【予定】BCPの説明と模擬訓練を2026年6月までに実施する									9		11		13.1		16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業承継と経営者に万が一の事があった場合の後継対策を決めてお り、後継者本人にも理解させている								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17


















チャレンジ項目記入数

23

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメントの意識を持つ為に役員が定期的に動画による研修をしている ・【予定】2026年6月までに、ハラスメント規定を作成する				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場安全チェックリストに沿って現場指導している ・年1回メンタルヘルス講習会を役員が受講し、社員の健康や安全に配慮している			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿って、従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている ・パート従業員に対しても有休制度を設けるなど、公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児への積極的参画などの環境を整えている。 ・有給休暇の取れていない社員について、個別に面談を行い、有給休暇を取りやすくなるよう、仕事内容を部署全体でカバーするなどの取り組みを行っている			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社員の能力開発の為、オンラインセミナー受講の機会を多く設けている ・資格取得のための勉強会を就業時間内に設けている(週一回程度) ・資格取得後は、資格手当があり、資格取得を奨励している				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の子育て支援の為、子の看護休暇を年に5日設けている			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障害者の雇用、高齢者の活用、女性が半数以上、女性の現場監督など、以前からダイバーシティ経営を推進中である				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・コロナ以降、検温消毒、窓開けを徹底している ・見学会、セミナーなどイベントでは完全予約制、人数制限を実施している ・講習会参加などはオンラインで実施している			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・施主へのipad貸し出しを実施し、情報共有、営業の効率化を進める								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	【予定】2026年6月までにブライト企業申請をし認定取得する			3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数

23

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物のマニフェストに沿った登録業者である ・マニフェストに沿って現場廃棄物、事務所の廃棄物を処理している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、社用車にハイブリッド、クリーンディーゼルを積極的に導入している ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、事務所の電灯は全部LEDを使用することを徹底している							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・FAX受信は電子化し、ペーパーレス化を図っている ・エンジン回転数2000以内になるよう随時指導している ・事務所の電灯は全部LEDを使用している ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社用車はハイブリッド、クリーンディーゼルを積極的に導入することでCO2排出の抑制に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動において廃プラ、レジ袋などの使用削減に取り組んでいる ・会社の回りに植栽をしている						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化と裏紙利用をしている ・再生紙を使用している ・使用済みプリンターインクカートリッジ(バルマーク)をリサイクルしている(小学校へ寄付) ・増改築強化による住宅のリユースを促進している									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」「汚染水などの適切な処理」を実施している ・事業所の水道蛇口に節水器具をつけている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙のみ利用している ・プリンターインクカートリッジはリサイクルの為に純正品を活用している ・乾電池は充電電池を活用し、リサイクルしている									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・来客用のお菓子は賞味期限を管理し、近くなったものから提供したり、社員で消費することで廃棄をしないようにしている ・会議弁当は、個人の食事の量の合わせて、ハーフサイズなどを注文し、廃棄ロスを防いでいる ・フードドライブへの取り組みを推進している	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・会社の回りに植栽をしている ・観葉植物を置いている ・緑の羽根を含めて、募金寄付活動を行っている												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・熊本県産木材アドバイザーに登録しており、県産木材を有効に活用した家づくりを顧客に提案することで県産木材の利活用を最大化し、林業の活性化につなぐ取り組みをしている						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・植林などの森林整備活動への寄附を行っている						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・プラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる(紙ストローへの変更)												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車にハイブリッド、クリーンディーゼル(50%)を導入している									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・CO2の排出量実質ゼロとする活動へ取り組んでいる (ゼロエネ住宅や認定低炭素住宅、太陽光発電システム設置住宅提供の推進、社用車のEV、燃料電池車、水素自動車使用の推進の取り組み)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2


















更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 平野設計室

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

チャレンジ項目記入数23

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・NEXT STAGEの第三者現場品質監査を導入している ・住まいのお手入れガイド(取り扱い説明書)を提供している ・アフター点検を20年間無償で実施している			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・自社玄関及び階段に手すりを設置している ・高齢者の生活を前提としたバリアフリー設計を原則提案している ・介護保険を使った介護リフォームを実施している									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県産木材アドバイザーに登録された社員が、県産木材を有効に活用した家づくりを顧客に提案し、県産木材を優先的に利活用した住宅を提供することで地産地消を推進している		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・自社の打ち合わせ室、応接室の床、壁に無垢材を使用し、顧客への木質化を推進している							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・全棟省エネ住宅提供への取り組みを推進している ・住宅部材にリサイクル品を使うシェアを増やす取り組みをしている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●	・熊本県木材連合会と連携を取りながら、講習会等、木材生産技術の向上、木材利活用・木材流通の合理化、木製材業等に関する調査研究、その他目的を達成するために必要な事業に参加し連携を取りながら、木材分野における地域貢献に取り組んでいる		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本地震復興などのチャリティーイベントを開催している ・ライオンズクラブへ加盟し、社会奉仕活動に従事している(社長)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所に防災グッズを常備している ・従業員はハザードマップを理解している				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・自社モデルハウスを地域の避難所として開放している	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・備蓄倉庫、蓄電池、発電機を販売している ・防災グッズを希望する顧客に提供している									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・顧客、従業員に対してSDGsの普及啓もう活動を行っている ・SDGs登録事業者であることやSDGsの取組みを掲載したHPやキャンペーンチラシなどを通して、顧客や業者等にSDGsの普及啓発を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学生の職場体験を受け入れている ・大学生、専門学校生のインターンシップを受け入れている				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・専門学校のインターンシップ受入れ等を通して、地元の若者を採用する取り組みをしている				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・大規模イベントで「森の博覧会」に協賛、又は家族連れを引率している ・【予定】2025年8月に小学生対象に木工教室を実施する		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

4